

1. 件 名：京都大学研究用原子炉（KUR）の2次冷却水配管枝管（ドレン配管）の交換に伴う設計及び工事の計画の承認申請に係る行政相談
2. 日 時：令和4年9月20日（火） 15時30分～16時10分
3. 場 所：原子力規制庁 10階会議卓A（対面及びTV会議により実施）
4. 出席者：
 - （1）原子力規制庁 原子力規制部 研究炉等審査部門
加藤上席安全審査官、望月安全審査専門職
 - （2）京都大学複合原子力科学研究所
教授 他5名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
資料：研究用原子炉KURの2次冷却水配管枝管（ドレン配管）からの漏水と改修について

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、それでは
0:00:03	K U R の行政相談の方を始めたいと思います。まず資料の説明の方から お願いします。はい。
0:00:10	いや京都大学の堀でございます。本日はよろしく願いいたします。そ れでは資料に基づきまして説明させていただきます。まず今回ですねK r の時冷却水配管、枝管ドレン配管から、
0:00:23	漏水がございましてそれに対する回収についてということで、本日ご相 談申し上げたいと思います。まず一番としまして、設備の概要から説明 させていただきます。
0:00:34	聞こえますかね。
0:00:36	はい。まずK r の冷却設備でございますが、一次冷却設備と、次冷却設 備から構成されております。冷却系統の配置及び冷却水の流れについ て、
0:00:48	図の 1 に示してございます。こちらですね、一次冷却水の流れは赤い矢 印で、二次冷却水の今までは青い矢印で示しております。
0:00:59	一次冷却系につきましてはですね、まず 1 次循環ポンプが 3 台ございま してですね、そちらでそちらが矢印が伸びていて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:10	熱交換機に入ります。熱交換器の構造につきましては、3 ページ目の図の 2 に示してありますように、このこの交換機というのですね、
0:01:23	チューブ&シール型といわれるもので、胴体と伝熱管から構成されるんですけども、管内に一次冷却水が流れ、管外二次冷却水が流れると。
0:01:34	そこで原子炉の運転時に炉心を冷却した位置に布施のやつを、水冷却に伝えるというものでござい。
0:01:41	流れとしてはですね図の 2 にありますように、一次冷却水は、チャンネル京坂側ですね、下から入って上から出ると、こういうふうな流れになります。
0:01:54	一方ですね二次冷却水でございですが、二次循環ポンプが 3 台ございまして、それで冷却塔からの水が、図の 1 に示すような形で、ナンバーはナンバー 9 ナンバー スリーの順で分岐して入るような形になります。
0:02:09	それでその結果ですね流れてきたものが熱交換機に入りますけれども、この熱交換器の西側の流路としましては、図の 2 に示しますように、
0:02:19	知るカバー側の下側から言う、入りまして、チャンネル京坂側の上側から出ると、こういう流れになります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:29	二次冷却設備の説明ですけども、1 ページ目の三つ目のパラグラフになりますが、二次冷却水は給水系及び日循環器科構成されております。
0:02:41	給水系はですね所内の冷却水系等により、冷却塔プールに吸収するための系統であると。
0:02:48	20 条関係というのは配管と、3 台の循環ポンプ、冷却と、6、6 基、弁類から構成されております。
0:02:56	冷却材には、所内の浄水を循環使用しておりますて、冷却塔によって蒸発等による消耗分を補給すると。
0:03:03	20 循環ポンプの運転台数はですね、2 台としております。
0:03:08	流量は書いてある通りです。
0:03:10	続いてですね、ちょっと今回、今回の
0:03:16	トラブルを受けて、ちょっと交換予定の枝管というものを、実はですね、2 ページ目に矢印で示したナンバーワンを南波つ今回漏れたのはナンバーワンになり、
0:03:28	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:28	それではですね、中込が今もですね、二次冷却設備の安全重要度についてなんですけども、P Sクラス3、二次冷却系配管の耐震重度、倉内に分類されております。
0:03:41	その次にですね、事象のちょっと詳細を説明したいと思います。
0:03:46	5 ページですね、5 ページに経緯がございますけども、これは4年の9月の8日にKURの定期事業者検査を行っておりまして、その中の検査項目、二次冷却設備の適合検査において、
0:04:00	二次冷却設備外観検査を実施中に、そのときはちょうど配管内のですね、圧力が0.17MPaという状態だったんですけども、二次循環ポンプナンバーワンの出口側二次冷却水配管。
0:04:13	これは図の4にですね、ちょっと写真が載せてありますが、循環ポンプがありましてそこから出口配管がこうなるんですけど、途中、枝分かれしたドレン用配管と、
0:04:25	というのがございますけども、ここの部分から一部漏水が、これしみ出る程度なんですけども、していることを発見いたします
0:04:33	漏水量としましては、30秒に一滴程度臆病であったと。この検査にはですね、熊取規制事務所の規制検査官が立ち会っておりまして、漏水があったのはその場で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:44	規制検査官に報告をしております。その後ですね、漏水の原因調査を行うということで、一旦この検査は中止しまして、調査のために二次冷却水配管からの水抜き作業を行いました。
0:04:57	翌日の9月9日に、メーカー担当者の立ち会いのもとに、漏水箇所の特定や原因調査を行いました。
0:05:04	で、当該配管のですね内部をまずファイバースコープで観察、確認しましたところですね、6ページの
0:05:12	図の6のようにですね、配管内にさび瘤が隆起していることがわかりました。
0:05:19	またですねと畜方向の肉厚を超音波で測定しようということで、これはですね図の7になりますけども、この
0:05:30	イオンの笹井様、左右前後と書いてありますけど4方向に対して、軸方向にですね、4ヶ所ずつ測定をしまして、その肉厚を測定した結果が表の1に示してございます。
0:05:43	なおですね漏水箇所のあったピンホール場所というのは、この前と右のちょうど間あたりになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:50	で、これを見ていただくとですね、表の1が、ナンバーワンの出口配管ですけれども、これは赤字で示しているのが、
0:06:00	原因が見られたところで、③の右の軸、これが1.5と最も現実が大きかったところです。
0:06:10	それからナンバーツーについてもですね、後ろ側の③④に有意な原因が見られて
0:06:16	No IIIについては、現実は見られなかったという状況になります。以上の内容をまとめるのは5ページの二つ目のパラグラフのところですが、地区方向の肉厚と超過で測定したところ、
0:06:29	配管の交渉肉厚約3.2人であるのに対し、測定箇所16.7点で、1.5から2.1mmまで減肉していることを確認いたしました。
0:06:39	また、当該配管の塗装をですね剥離したところ、直径約0.5mmのゴールを目視で確認しましたと。これ図の5のところですね、
0:06:50	漏水箇所とありますけどここをですね、
0:06:53	拡大したのが、7ページの図の8ですね、こちらにちょっとそこの部分のところでお渡しを剥がしたところですねピンホールがあったということがわかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:03	<p>ですのでこのピンホールの周辺ですね、ちょっと半径 10mm の援助にですね、肉厚を測定した結果がですね図の 8 の下のところに書いてございます。</p>
0:07:14	<p>こちらを継続したところ、1.1 から 2.3mm まで原因があるということを確認しました。これがまず経緯でございます。</p>
0:07:23	<p>続きまして、</p>
0:07:25	<p>8 ページですね。</p>
0:07:27	<p>他の二次循環配管についても同様ですね、調査を行いましたけれども、まず配管内部については、ナンバーワンで見られたような三国安孫子部というのは、</p>
0:07:37	<p>発生していませんでしたが、肉厚測定の結果ナンバーツーでも、有意の原因が確認されてますが、No III では議員が見られなかったという状況で、</p>
0:07:46	<p>次に想定される原因でございますが、当該配管は、二次冷却性のドレン用枝管ということで、通常の状態ですと、次循環ポンプを運転していても、江田管内の水は流動しにくく、</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:00	冷却性配管より鉛直下向きに伸びているため、不純物が滞留しやすい構造となっており、
0:08:06	その結果、不純物を含んだ水がドレーン枝管に滞留することにより腐食が進んだものと推定しており、
0:08:14	これまでの管理の状況ですけど、各関連の履歴というところがございませけども、定期的にはですね、超音波肉厚測定を実施したりしております水木を実施したりしておりますが、
0:08:27	これまでそういった原因というのは見られております。
0:08:30	それです次は、廃止方法でございませますが、今回、Aの現実が見られた循環ポンプナンバーワン及びナンバーツーの
0:08:40	内側に取り付けたドレン配管を以下の方法で取りかえることを考えております。
0:08:45	まず2次循環ポンプ出口配管の一部を取り外して工場へ搬出と。これ図の2のところですね。ええんじゃない。
0:08:57	すいません。これの4の間違いでした。
0:09:01	4、4、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:03	4で赤い点線で囲んである部分、これが循環ポンプ出口側配管ということになります。この部分を取り外しまして、ドレン配管の取り外しを、
0:09:15	構造材で行うと。さらに新たなドレン配管を取り付けて、これは構造材の作業で行いますが、取引方法は従前と同じものを考えてます。で、当該配管の漏水検査を行ったのっていう搬入据えつけをして、
0:09:28	外観検査、検査を行い、最終的に漏えい検査ということで、健全性を確認したいと思っています。
0:09:37	今回このような作業をする際はですね、当事業者の品質マネジメントシステムに基づいた、仕様書、使用前事業者検査相当の検査を確実に行うことを考えておるし、おります。
0:09:51	次に7ページに参ります。
0:09:53	施工認申請の必要性の用意要否についてと。
0:09:57	ということなんです、まずこれまでのですね二次冷却設備についての施工に申請というのが6件行われております。これは表2にですね、これまでの履歴が書いてありますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:09	昭和 38 年が建設当初のもので、そのあと、昭和 42 年に、出力上昇のための会議のためにですね冷却設備の新設というのをやっております。
0:10:25	で、そのあとですね、二次循環ポンプの更新ですとか、二次冷却設備の変更一部フランジの変更とか、二次冷却系遮断弁の更新等を行っておりますが、
0:10:37	基本的にですね、二次系の配管等の設計仕様を変えているのは、この出力上昇試験が最新のものになります。
0:10:46	で、参考のためにですね原子炉施設の変更に係る設計及び工事の方法承認申請出力上昇の時の添付書類の抜粋というものを、参考資料 1 につけさせていただきます。
0:10:58	こちらはですね、配管の圧力、
0:11:03	に対してのですね、説明資料なんですけども、ここに番号は 16 まであります、このここに示している配管についてですね、
0:11:15	計算、9 月より 2 月が上回ると。
0:11:19	ご説明がござい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:22	その時のですね材質についてでございますが、また9ページに戻りますけれども、アークで囲んだ部分が、当該ドレン配管を示しております、材質はSGW、
0:11:35	水徘徊亜鉛メッキ鋼板で、
0:11:38	寸法は25Aと記されており、
0:11:41	またですね、平成10年の3月に、予防保全の観点から、枝管、全部で13ヶ所あるんですが、その更新を行っております。
0:11:51	本体の更新ではなく、その部品交換という位置付けのためにこれは一般的補修作業として行われております。
0:11:58	この部分の補修記録の抜粋というものを参考資料2に示させていただきます。
0:12:03	赤枠で囲んだ部分が障害奴隷配管を示しております、比木の材質というのは、IMEされたSGPと、寸法は25Aとされております。
0:12:14	今回新たにですね、購入する予定の部品についてのスペックを、資料3、参考資料3の方に示させていただきますが、配管には施工認申請書記載と同質のデザイン数SGPW、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:28	数行 25 円の配管を用いるであります。企んには材質 S S 400 で寸法 25 円、開発は J I S 10 K の差し込み番フランジを用いる予定であり、
0:12:40	なお、
0:12:42	承認の施行に承認申請書では、フランジの使用については特に規定をしておりません。
0:12:47	このような状況をかんがみまして、今回の作業というのは、当該設備の設置における施工認申請書に記載した設計条件及び喫煙を含む設計仕様を変更するものではないことから、
0:13:01	地形の規則第 22 条の 2、設計及び工事の計画の認可を要しない工事第 1 項の工事に該当するものとして、設計及び工事の方法の認可を要しないものと考えておる次第ですが、これについて
0:13:16	ご指導いただきたいと思っております。以上でございます。
0:13:24	はい。ありがとうございます。
0:13:28	では、うん。その方ですね、何点か確認をさせていただきたいんですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:36	まず今回、枝管のところからピンホールが見つかったってということなんですけれども、目に会館の方ってというのはもちろん調査をしていて問題ないってことを確認してるっていう理解。
0:13:48	これあの金、はい。
0:13:54	定期事業者検査前に行っていない選挙において問題。
0:14:03	今後、
0:14:05	さっきちょっと細かい点なんですけど何点かたいと思います。
0:14:11	まずP5 ページ目の図5のところ、
0:14:15	今回の漏水箇所ってというのが、ドレーン用日高の手動弁がある、上流側。
0:14:24	ということなのは、そう考えるとこれ運転中とかであればもちろん0.17MPaの圧がかかる場所という、そういう理解でよろしいでしょうかね。はい、それで間違いございません。
0:14:42	それぞれ今回P8 ページ目のところで、今回の改修があって、両括弧について4、14のジオパーク出口側配管の一部を取り外し、
0:14:58	D工場に入っちゃうんですけど、これ、14の赤字っていう、はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:07	これーっていうのは、循環ポンプ等とはまずフランジで繋がっています。だからフランジを外します。
0:15:16	それと、メーカーにもまたフランジでは、90度曲がった状態で、ここを外します。
0:15:24	それで、下の旅館については、これ基礎ボルトか何かで止めていて、その基礎ボルトを外すことによって、こちらパカッ、
0:15:34	頭を外して持っていくっていう理解でよろしいですか。はい。おっしゃる通りでございます。
0:15:39	後、
0:15:42	あと同じく回収方法。
0:15:50	両括弧 2 と両括弧 37 っていうと。
0:15:54	今回、ドレン配管を取り外し、新たなドレン配管の取りつけていうの、はい。
0:16:03	具体的にどこのことを言ってるのかっていうところなんですけれど、それは 15 のところ、
0:16:12	白水のフランジで止まってるフレンドマートリます。はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:18	そうすると、フランジに接続された伊田さんがあって、目を体感定量的に作られているので、
0:16:26	このメインのところは片議って取り外します。
0:16:30	それで、この枝管とフランジをつけたものを新たにここで溶接でつける。そうですね江田さんの方は新品のものにしますので、そこを溶接して、
0:16:44	いったところにできるというそういうことで、はい。
0:16:51	規制庁の清家です。具体的な
0:16:53	範囲っていうのは、15 でいきますと、どういうと、どの範囲であって、これ、ここ。
0:17:03	これを基に、はい。様子の箇所を聞いて、ここのフランジの方はもうこのパイプが強い。
0:17:17	はい。
0:17:18	それをちょっと、
0:17:20	図 5 用いて、少し詳細配信間かけて、ちょっと溶接切断とか、部分交換とか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:30	そういうわかりやすくこの資料からあと、具体的にどの範囲っていうのがちょっとわかりづらかったんでそちらの方をちょっと追記していただいて、4番の回収方法のところに、
0:17:40	そうですね具体的にちょっと範囲等では、示していただければと思います。あとやっぱりその溶接で書かれたのをつけるっていうのが一つポイントになっているの。
0:17:53	予定ってついてるから切断をして、さらに新しいものを溶接につけようというところをちょっと、
0:18:01	今日、はい。
0:18:05	またそこなんですけれど、取引については従前と同じ言い方をしているんですけれど、それはそれ
0:18:15	いる四つのなんでしたね。見積もりする体質っていうか、あれとかも全く一緒っていう、そういう理解でそうですね、平成10年になった、
0:18:25	作業と、没水、
0:18:29	これ、とりあえずも同じようなやり方でやってるはずなんですけど、
0:18:36	ちょっととりあえず従業員と同じ、その溶接の仕方容積に、
0:18:46	使用する代金も同じっていう理解ですね。そうですね。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:54	そうですね。なんか、
0:18:59	ちょっと、
0:19:03	介護保険
0:19:05	かもしれない。
0:19:06	一番最初のね、一番最初の改定は将来ミサワです。一番最初ですね施行の時は先ほど
0:19:14	フランジの材質も書いてなかったように、
0:19:18	溶接部の棒の材質っていうのは書いてないんですねうん。ですから、ちょっと一番最初と、今ちょっと
0:19:29	少なくとも結構いいところは、ちょっとそこは言うことはできないんだけど、うん。そうするとやっぱり住民と同じっていうのがあって、
0:19:40	ごめんな言葉だけなんで、違うんだったら直してっていうだけなんだけど、はい。
0:19:45	うん。
0:19:48	この世取引方法っていうのは溶接が同じですっていうことを言ってる。
0:19:53	岩瀬、本溶接方法は一緒ですけども、鉄棒については、材質はですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:04	ちょっとしっかりね、されていなかったと思うんですが、すみせん京田釜谷先生。
0:20:11	うん。
0:20:12	はい。溶接の郷の財津って何か記載わかりますか。
0:20:19	ちょっと私、こっちの資料持ってないんであれなんですか。
0:20:24	多分それはないんですが、ちょっと調べますけど、
0:20:28	瀬野曾田地区のっていかどうかちょっと調べてみます。水道管の丹山河なので、多分そんなにあのいろんな不都合があるとは思いませんので、拘束値なもんだと思います。ちょっと、
0:20:40	あるかどうか、規制庁の加藤です。ちょっとですね勘違いをして欲しくないんですけど、あのですね何ですかね、きちんと適切な
0:20:52	ものを使っていけば私はいいいんじゃないかなってということで、記載が多分、二次冷却系の使用に関わる場所もないということであれば溶接のそんなところを多分書かれていないと思うんです。
0:21:06	だからきちんと適切な総数、そういう溶接棒で行えばいいと。それで私方に気になったのは溶接方法は従前と同じって書かれてきたから、気に

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>なっただ形なんてそこちょっと勘違いしないでいただきたいと思いま す。</p>
0:21:22	<p>はい。</p>
0:21:23	<p>ちょっと今こちら、兄弟店です。こちらでお手元のですね、</p>
0:21:30	<p>平成10年の資料見てるんですが、そこには特に溶接棒の資料というの は課されております。なかったです。</p>
0:21:40	<p>すいません。いいえ。はい、わかりました。</p>
0:21:46	<p>はい。</p>
0:21:51	<p>はい。ちょっと大木町の加藤です。これもちょっとさせていたきたい んですけれど、また同じくですね、今日付相談、資料の8ページ、全部 回収方法の</p>
0:22:04	<p>両括弧4項、7ページ、まず当該配管の漏水検査、</p>
0:22:10	<p>それとあと多分これつけてからの漏えい検査なんだと思うんですけれ ど、具体的に何をするかっていうのを、</p>
0:22:23	<p>えっと、</p>
0:22:28	<p>うん。はい。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:32	よう（４）番の水検査については、今のところ、溶接終了後に水を含めまして、
0:22:43	ごめん、これ多分違う。
0:22:45	すいません。京大ミサワです。ちょっとあれです。ですねここの漏えい検査といいますのは、これは完全に据えつけた取り付けた後の検査ですので、これは要するに今まで、前回、不合格の検査をこれをやり直すと。
0:23:01	ということです。それからここにある外観検査据付検査も、工場から取り出した後の検査と、
0:23:08	ということになります。うん。で、我々今業者と相談しておりますのは、その上ですね、我々の受け取る前の検査、
0:23:19	要するに工場検査ですねうん、これをどうするかということはちょっとここにはちょっと記載しておりません。具体的にはですね、今、業者の方に依頼しているのは、
0:23:30	ただ、この前、
0:23:35	外観検査、それから、溶接しますので、当然溶接の会社検査、それから溶接後ですね、溶接状態をやる線引き投信当初、短所P Tをやると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:49	いうことを考えております。それから、当然、後、業者で外観検査をやるわけなんです、最終的には業者でですねそのフランジふら時間のところで耐圧検査、
0:24:00	そこで圧をかけて検査をします。
0:24:04	ということで考えております。耐圧検査、もちろんイメージはわかるんですけど、ここで一度防水とか基本的に漏水してるときだと、何ですかね。
0:24:15	みたいのをつけてもらう。うん。ですね、こちらの漏えい検査は、いわゆる繰り返し、これは現場での検査ですね、いろんな話を聞き、
0:24:29	これはですね、出荷前の検査というので、それは耐圧検査ということで、うん。具体的に明日をかけて、うん。漏れないかという確認になります。バブリングするかどうか、ダブルA等やるかどうかですね。
0:24:44	ちょっとそれはまだ具体的にないですが、少なくとも今うちの方からリクエストしてるのは、構成された記録計を持って、松尾かけて、
0:24:56	検査をしてくださいということでもあります。その計算方法の確認についてはちょっとまだ、
0:25:03	決めております。そうですね。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:07	はい。ちょっと決まってないかもしれないけど、そこの要するに出荷前検査として開発検査やるときが、この定期事業者検査でやっている。夏ぐらいまで。
0:25:18	定期を設計されとれていないので、ちょっとそこはどこまでかそうですねちょっとまだ決めてませんので、当然それ以上ということに、
0:25:29	やはりポンプを、
0:25:31	運転させた状態、およそ 0.34MPa、
0:25:35	運営費、これが 1 以上は必ず 4、
0:25:41	0.17 で赤字かもしれないけど、なるほど。
0:25:45	掛けると駄目なのではちょっと。なるほど。
0:25:49	それは本飯野として 0.35MPa を出せる。
0:25:54	うん。
0:25:56	もう少し、
0:25:57	見えますね。やってる違わない。
0:26:00	すいません。ちょっとそここのところはまだ具体的な数字が上がってないというところで、わかりました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:05	一応向こうの方とですね打ち合わせがこれこれ資料なんです、そのところに今の言ったような溶接の解析、それから機器等はもうやるというので、一応話は、
0:26:20	それと、
0:26:22	からはですね、ちょっと事実確認だけですあくまで、
0:26:26	技術確認だけ、単に本当格闘していなくて、なんでこうだったのかなというところ、何ていうか今回の食の原因とかそういう方じゃなくて、
0:26:38	まずちょっと確認したいのがー。
0:26:41	P9 ページ目のですね、2 パラで平成 10 年のときに、
0:26:46	この J A 槽を更新していますよと言っています。
0:26:51	それで、その時に変えた配管の材質なんですよね。
0:26:56	もともとの既承認のときだと S G T 多分、
0:27:01	ていうものを使っていたんですけども、
0:27:04	ここの更新で S G P の会、
0:27:08	亜鉛メッキされた時期、
0:27:11	亜鉛も至ればですね。
0:27:16	そうね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:18	ごめんなさい。
0:27:25	うん単に何でNSGPWを使わなかったのってということなんですけれど。
0:27:33	そこはわからない。そのPはちょっとわからないねだからその時の補修報告書の計算の結果を見ると、IMRT地域を作っちゃっているという 事実は、
0:27:46	あるんですけども、わかりました。はい。
0:27:48	それと、
0:27:50	ここ、2パラのときに、
0:27:53	部品交換という位置付けで、一般的な保守作業として行われたかっというふうになってるんですけど。
0:28:02	一般的な保守作業っていうのはあくまで執行に送らずに、自主的にやることを言ってます。はい。
0:28:08	それ、この一般保守としてやるやらないっていうのは、榎敬当局の方に確認はされてるんです。
0:28:16	もう。はい、えっとですね、当時、江藤天田これ関係長の科技庁科技庁の時代です。98年ですので、議長の時代で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:26	<p>ちょっとそこの、しっかりとした打ち合わせのメモは残っておりません。うん。ただ、としてはですね、当時もう河口次長とも、</p>
0:28:37	<p>こういうことをやる時にですね、ちょっと相談をしましたので、多分担当者は、一言だろうなということわかりません。そこまでしかちょっとわからないです。</p>
0:28:47	<p>わからないけれどおそらくとったものと思われそうですけど、当時からの我々のやり方ですので、江藤さん議長にお伺いさせて、</p>
0:28:56	<p>いうふうに思う。</p>
0:28:58	<p>はい。</p>
0:29:00	<p>ここでなんでだってやっても多分すみません、残ってないと思います。</p> <p>はい。</p>
0:29:07	<p>それとですね、今度P9ページの行からの方に行って、それ既承認の機械とそれと今回更新するところっていうのを評価をさせていただいてると思ってるんですけども、</p>
0:29:21	<p>また配管の方は、大してそれ先方について、あくまで研究所類、配管の共同強度の</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:29	配管のタイプ強度の説明をしているところに、これらの二次系の配管についてはダイフク先方が書かれている情報立てと、その情報と全く同じものを入れます。
0:29:41	それで、プラントについては、過去を承認の新九州では主フランジの使用機器ない色まではわかりましたが、ここに書かれているフランジの、
0:29:53	S S 400 先方 25 円開発 10 分。
0:29:57	これっていうのは、今つけてるものと全く同じ、その理解でいいですか。同じですね。うん。
0:30:05	はい。はい。それ、全く同じですっていうのは何かしら、イビデンさん。
0:30:15	方もちょっととして、その中に、材料証明を受けて、うん。
0:30:24	これはもう、これ、NP、ああ、なるほど。はい、ほかにはその時のこの案の材料、小柴先生を、
0:30:35	はい。はい。はい。
0:30:44	人口が 25 円と。
0:30:52	この 3H ってジェフてっていうのもあるんですか。
0:30:56	ここね。はい。はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:59	わかりました。これか。
0:31:01	保守検査記録。
0:31:05	検査証明書のね、材料の検査も、うん。
0:31:12	言わないでも、いわゆる見るし。うん。はい。
0:31:15	あれをもって、
0:31:20	こういう、もっと、
0:31:22	ちょっとこいつも入れてもらうことってできます。参考資料は追加で、 はい。
0:31:30	あと、これもちょっと、過去のお話で申し訳ないんですけどわかる範囲 で教えてください。
0:31:37	それとあと認識違ったら言ってください。
0:31:41	私の認識だと、あくまで29%にも、
0:31:45	名簿、配管については、設工認に使用が載っているのが、今だと普通な んじゃないかなと。
0:31:54	宇津池谷。
0:31:56	ですが今回ないよ。これ設工認、当初、当初の建設時の設工認だからっ ていうことではない。訂正の後に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:06	金庫内のスポーツ集中力上昇で42年建設後ですね。はい。44年後、旧34年ですので3年後ですね、展開後の3年の3年、
0:32:20	ちょっと古いついていうのもあるんですけど、まず20件今入れるっていうのはそういう理解だな。
0:32:28	二次系の配管の使用、
0:32:32	それとも放射性物質とかを含んでいないからこれらは要らないんですよ。
0:32:37	形なのか、まずちょっと認識を合わせたいんです。
0:32:43	すいません、ちょっと確認させてください。まず二次系の冷却設備の配管については、多分今現在の施工に当時の鉄鋼にですね、
0:32:53	ここにそういうことで書いております。書いておりますのは、
0:33:02	先ほどご質問時台通ってきた一応、使用しようとして、こういうものが先方どれぐらいで、この今、
0:33:20	うん。うん。
0:33:25	配管の当時、具体的な
0:33:31	何だ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:32	これについては書いてなかったということで、それはそうです。はい。 それで、私がまず確認をしたいのは、古いから載っていなかったね。はい。今でも実時期であり、
0:33:45	改善の仕様っていうのは、工認に入れているものと考えてね、を入れるべきものと考えているのか。
0:33:55	入れないものと考え、
0:33:57	私、これあんまり二次系とかっていうてそこにあまりないんですけれど、一般的な使用事例じゃないかなあと思う。
0:34:08	長大三澤です。うん。えっとですね。
0:34:11	まず今だったら入れると思います。私はないと思います。そこにいや、それはですね、やはり当時と大分違って、地域はこれアルミ配管なんですけど、
0:34:23	二次系は、施設ということでなってますが、うん。これは入れないっていうことはないと思います。はい。
0:34:32	これ、これ本当はここまで行きたかったんですけど。
0:34:37	当時入れなかった理由って何か正確できたりします。
0:34:43	宗松谷高校なんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:45	正直わかりませんとですね例えばポンプについては鋳鉄を強い、
0:34:52	使うとか、ソフトウェア、修好ですからある意味、性で使うとか、そういうところは書かれております。冷却塔のファンをどうするか、これは書かれていますけれど、
0:35:05	はい。
0:35:07	系統のパイプそのものについては具体的には、在支が書いてないというのはもう正直なところで、
0:35:14	規制庁中で、ちょっとごめんなさい、もう1点、私がちょっと認識、二次系に関わるものは、
0:35:26	やっぱの仕様が書かれていないというふうに理解をしていかない、そうじゃなくて、ごく一部、配管だったり、冷却塔の間とか、ある意味主要部分については、費用がかかるので、おっしゃる通り、ああ、そうですか。
0:35:41	今言いましたように、いくつかのものについてはもう一つ手元にありますが、しっかりと材質、もちろん例えば不就航ですねええとタツノ何番とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:53	そこまでは書いてませんが、うん。全部使うということだけが書かれて おります。
0:36:02	国、
0:36:03	そう、日経、
0:36:05	ワー、相川さんがね。
0:36:09	これって今具体的にじゃあ、
0:36:11	の番号はとかいうことは何も、
0:36:14	思います。うん。
0:36:18	問題のルールを、
0:36:22	えっと、
0:36:29	そのまま出てきた。
0:36:31	はいはいはい。
0:36:34	でもここまでは書かれているわけですね。
0:36:38	わかりました。
0:36:42	先ほどもあります登録ポンプ等については、うん。
0:36:47	ある程度終わっていますんで、図面等もいただいて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:52	あります。ちょっとうちの方でも、設工認に一気に見るんですけど、 ちょっとなかったらちょっとその該当部分でも構わない。それはもう、
0:37:02	別に向かって、
0:37:04	ホーム、
0:37:08	今のここに手元にあるこれですが、これは後でまた、そうですね、はい。
0:37:14	はい。私からの確認は以上となります。
0:37:22	他何かございますか。
0:37:28	わかりましたので、
0:37:30	大丈夫でしょうかね。
0:37:34	はい。こちらからの確認は以上となりますが、京大の方から何かございます。
0:37:41	はい。どうもありがとうございます。そういったの方はですね東証 10 月 18 日からやっとな共同ん。
0:37:50	共同利用運転を開始するということで、一応アナウンスしていたんですが、これについては工事が県へとあるということで、延期されると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:00	<p>いうことでもう手続きをどんどん膨らんできていますのは地元自治体への説明も含めてですね、それから前もちょっと言いました、文科省から京大本部への連絡も含めて連絡していると。</p>
0:38:14	<p>いう状態でございます。どのくらいの実際抗議かかるかというのは、まだちょっと確定なところないんですが、私の感覚では最低</p>
0:38:25	<p>1ヶ月検査も含めると1ヶ月とりあえず何だかんだということで、やはり運転が伸びるなということを確保しなければいけないと思っています。</p>
0:38:34	<p>ただそうは言ってもですねやはりできるだけ早く再開したいと思っていますので、もし、こちらからのものを見ていただいてですね、コメント等についてはできるだけ早期に開示したいと思いますので、</p>
0:38:46	<p>工事の要否についてはぜひ、早めに教えていただきたいとも必要ということになればもうすぐに一定数値が入らなければいけませんので、よろしくをお願いします。</p>
0:38:56	<p>はい、ありがとうございます。釜谷伊勢、何かありました。</p>
0:39:01	<p>玉井です。特にございませんけども、今設工認の話はずっとされたと思うんですけど、こちらに</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:08	出力上昇の時の設工認を見てたら、そういう配管の系統図みたいのがあって、そこにも水系の S s - D P Wということも記載されてる図面がございますので、
0:39:21	ちょっと今、そちらで議論なったらそれなのかどうかわかりませんが、
0:39:26	この図面から、
0:39:28	%ですから、見にくいんですけどそういう系統みたいなありますけど、
0:39:37	確かにここ S P D 書いてますねとかですね、150 とか 300 とか、はい。
0:39:48	だから、すみません本文には書いてないんでこれあんまり、うん。要するに図面に書かれています。そうですね。
0:39:58	以上です。
0:40:01	できましたら配布。
0:40:04	イルカ行事をご判断いただけたらと思います。よろしく願いいたします。
0:40:09	規制庁の加藤です。可能な範囲ですきちんとちょっと速やかに判断をしたいと思います。
0:40:18	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:21	兄弟の方からは以上で、以上です。はい。
0:40:25	植田参加者の方もよろしいですか。
0:40:31	はい。ありがとうございます。結構です。はい。ありがとうございます。 す。はい。そうしましたら、本日の行政相談はこれにて終わりにしたい と思います。ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。